

こどもたちの心のケアについて

<令和７年度（２０２５年度）第１回カウンセリングが必要な児童生徒 学校調査結果>

１ 方法

「心と体の振り返りシート」等を使ったアンケート結果や日常の児童生徒の健康観察などを通して、学校がカウンセリングを必要と判断した児童生徒の数を集計した。

今年度より、熊本地震および新型コロナウイルス感染症を要因とするカウンセリングが必要な児童生徒数については個別に調査せず、それらの要因を含めてカウンセリングを必要とする児童生徒全体の数を把握する調査へと変更した。

２ 調査期間 令和７年（２０２５年）５月２９日（木）～６月３０日（火）

３ 対象者 市立小中学校の全児童生徒 ５９，２０５人

４ 調査の結果

カウンセリングが必要と判断した児童生徒数

２，８５７人（全体の約 ４．８３％）

		令和２年度			令和３年度			令和４年度		
		１回目	２回目	３回目	１回目	２回目	３回目	１回目	２回目	３回目
実施日 要因	熊本地震	249	205	171	108	90	74	50	38	38
	新型コロナ	557	304	266	115	112	131	169	108	85
	その他		1,086	1,285	1,671	1,853	1,994	2,177	2,370	2,572
	合計		1,595	1,722	1,864	2,055	1,876	2,396	2,516	2,695

		令和５年度			令和６年度			令和７年度		
		１回目	２回目	３回目	１回目	２回目	３回目	１回目	２回目	３回目
実施日 要因	熊本地震	28	29	29	21	18	11			
	新型コロナ	31	30	19	9	8	5			
	その他	2,393	2,708	2,655	2,814	3,175	3,138			
	合計	2,452	2,767	2,703	2,844	3,201	3,154	2,857		

【学年別】

学年（人）	小１	小２	小３	小４	小５	小６	小学校	中１	中２	中３	中学校
必要数（人）	177	237	286	293	297	274	1,564	412	444	437	1293

【主な要因】複数回答可

①児童生徒自身のこと（心身の健康 発達障害 など）	1,816
②学校生活のこと（人間関係 学級や部活動 友人や教職員との関係など）	1,070
③学習、進路のこと	298
④家庭生活のこと （保護者や兄弟姉妹との関係 虐待 貧困 ゲームやインターネットの利用 など）	620
⑤生活習慣のこと（朝起きるのがきつい 寝る時間がとても遅くなった 睡眠時間が減ったなど）	188
⑥ゲームやインターネットの使用時間のこと（学習以外のSNS使用や動画、音楽を見たり聞いたりする時間が増えたなど）	97
⑦健康のこと（体の調子がよくない やる気が出ない など）	280
⑧熊本地震の影響を受けた	9
⑨新型コロナウイルス感染症のこと（感染の恐れや不安 など）	2
⑩その他	30